

ローレルスクエア建都ザ・レジデンス

LAUREL SQUARE KENT THE RESIDENCE

No. 20-037-2020作成

新築
集合住宅

発注者	近鉄不動産株式会社 他2社	カテゴリー				
設計・監理	株式会社長谷工コーポレーション HASEKO Coporation	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB	
施工	株式会社長谷工コーポレーション	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

緑に包まれた健康的なライフスタイル創造住宅

計画概要

吹田操車場跡地に、北大阪健康医療都市『建都』の都市型居住ゾーンとして計画された敷地面積約2haの大規模集合住宅である。
新しく生まれ変わるまちのスローガン「多様な世代が暮らすための機能を充実させながら定住の魅力を高め、自然環境にも配慮した新しいまちづくり」に基づき、「健康」をプロジェクトのキーワードとし、外周部にはランニングができる緑豊かな歩道空間の整備と、街角には様々なアクティビティが行える大きな芝生広場を設けている。また建物内には、入居者同士が自然と交流を図ることができるような様々な共有諸室を設け、入居者が健康的かつ豊かに生活が営める計画を目指した。



建物外観

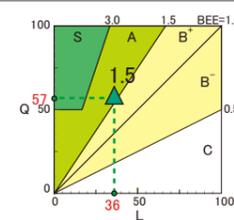


建物外観 (全景)



配置図

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	品確法省エネ対策	Aランク
竣工年	等級 4	BEE=1.5
敷地面積	BEI 1.50	2014年度版
延床面積	LCCO ₂ 削減 35 %	自治体提出
構造		
階数		



健康をテーマとした緑溢れるランドスケープ

敷地を囲む小道は約600mのランニングコースとなり、ヨガを行う芝生のグランドパーク、新緑・紅葉が美しいカツラの並木道、葉草やハーブ類を植樹したハーバルガーデン、涼やかな木立が迎えるヒーリングガーデン、気軽に運動できる健康器具エリアを巡りながら運動、散策、植物観察などを通して健康づくりに親しめる計画としている。



グランドパーク (全景)



グランドパーク



緑道 (ランニングコース)

自然と健康を意識することを旨とした共用スペース

エントランスから各住戸をつなぐ一階の共用廊下はウォーキングコースを兼ねており、それに面して内部が垣間見えるマルチスタジオ、エクササイズルーム等の諸室を計画。入居者同士の交流を促すとともに、日常的に生活を営む上で身近に健康を意識することができるレイアウトとしている。



ウォーキングコース



マルチスタジオ



エクササイズルーム

マンション内で自家発電するコージェネレーションシステム



共用部で使用する電力の一部をコージェネレーションシステムにより自家発電。発電時の熱を、冷暖房に有効利用することで節電を図り、空調に伴うCO₂排出量を削減している。

設計担当者

統括：美濃部 幸治/建築：仮屋 健司/構造：森脇 幸司/設備：高橋 佑太
多田 周平/インテリア：芝本 和可/外構：湯口 亨

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3 .1. 生物環境の保全と創出 (敷地の約25%以上の緑化率)
- Q3 .2. まちなみ・景観への配慮 (開かれた空地を設置)
- Q3 .3. 地域性・アメニティへの配慮 (緑道空間創出)
- LR1.3. 設備システムの高効率化 (ガスコージェネレーションシステムの採用)